

平成24年度 第2回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成24年8月23日(木) 18:30~20:00
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 8名…浅羽、柏崎、河村、酒井、澤田、古田、前川、渡辺
事務局 2名…市民生活課 松尾、江南
指定管理者 2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者 0名

1 開会

2 職務代理者(副委員長)の指名

委員長から副委員長に河村委員が指名され(委員長欠席のため事務局代弁)、了承された。

3 報告事項

[意見概要]

(1) 利用状況・利用者の声について

指定管理者及び事務局から、資料1に沿って報告した。

(指定管理者)

平成24年度4月~7月の利用者数は、4月が一番多く、夏に向かって少なくなっている。今年度は特に6月が少なかった。昨年比で見ると、4月と5月、8月は上回っている。

登録団体数は、3月~4月にかけて整理したので減少したが、順調に伸びてきている。現在は518団体の登録となっている。

(市民生活課)

久里浜のサポートセンターは、利用者数・利用団体数ともに昨年を上回ったのは7月のみであった。また、追浜のサポートセンターは、利用者数は6月と7月が昨年より多かった。しかし、利用団体数に関しては、昨年を上回ったのは5月のみという状況である。

(指定管理者)

パソコンの主催講座は、9月からスタートの予定である。

活動紹介コーナー利用状況は、ほとんど埋まっており、常に掲示されてい

る状況である。

利用者の声で、パソコン動作の遅さに関しては以前からも指摘されているが、パソコンのリース切れによる機種交換が来年度に予定されているので、それまではだましまし使用していくしかないかと考えている。

(委員)

プロジェクターの貸出の費用はどれくらいかかるのか。また、そのプロジェクターは新しいのか。

(指定管理者)

貸出備品は全て無料である。また、プロジェクターは、明確ではないが、少なくとも6年前にはあったので、サポートセンター設立当初の物かと考えられる。ただし、使い勝手が悪いものではなく、通常の会議であれば使用可能である。(大ホールでの使用は難しい。)

(2) 夏の市民活動体験中間報告

指定管理者から「夏の市民活動・ボランティア体験 中間報告」の資料に沿って、報告した。

(指定管理者)

夏の市民活動・ボランティア体験は、7月14日(土)から始まっており、8月31日(金)まで市内各所で行われる。最終的な数字はまだ出ていないが、8月23日(木)現在、37イベント中29イベントが終了した。7月10日(火)に神奈川県立保健福祉大学で出張PRを行い、4団体がPRに参加した。

授業の一環として授業中にPRさせていただいたので、約100名の学生を対象にPRすることができた。また、7月12日(火)には関東学院大学では、3団体が出張PRを行った。こちらは授業内ではなく、学内の一部を借りて、ブースを出展する形であったため、何人の学生にPRできたという数字は出していない。7月25日(水)と8月1日(水)には、FMブルー湘南でPRを行った。

広報ルートが広がったため、中学校にも周知できた。中学校の先生がクラスの生徒を引率して参加したというイベントもあったそうである。

9月14日(金)の報告会において、正確な数字が各団体から上がってくるので、10月1日(月)に報告集を出す。

(3) のたろんフェア2013について

指定管理者から「のたろんフェア2013企画案」の資料に沿って、報告した。

(指定管理者)

開催日時は、2013年2月9日(土)と10日(日)の2日間で10:00~16:00の開催である。サポートセンターと汐入周辺で行うことになっている。昨年と同じような企画でいきたい。ただし、第1回実行委員会を8月27日(月)に行う予定なので、ここで企画について議論を行い、決定する予定である。

実行委員メンバーについて確認を行った。

(指定管理者)

神奈川県立保健福祉大学の学生が実行委員に参加してくれるようになったのはいつ頃か。

(指定管理者)

初回から参加している。ただし、参加していない年度もあった。毎年神奈川県立保健福祉大学生に声をかけていて、今年度は3人の学生が参加している。神奈川県立保健福祉大学生が入っていない時には、他大学の学生が参加する時もあった。

(4) こたろんフェア(障害者福祉活動団体フェア)について

指定管理者から「こたろんフェア“12”企画書」の資料に沿って、報告した。

(指定管理者)

開催日時は、2012年11月3日(土)と4日(日)の2日間で10:00~15:00の開催である。サポートセンターの周辺で行うことになっている。参加予定団体は昨年より減少している。

すでに実行委員会も開いており、良い盛り上がりを見せているので、昨年以上の形でできるのではないかと考えている。被災地の販売支援も行っていきたい。

(5) 多目的ルームの活用について

指定管理者から「多目的ルームと情報発信拠点」の資料に沿って、報告した。

(指定管理者)

来年度の1番大きな計画(課題)が‘多目的ルームを中心にしてサポートセンターからの情報発信力をどう高めていくのか’である。

多目的ルームにはすでに新しいパソコンが6台入っており、インターネット環境も整えてあるので、インターネットを通じた活動も可能になっている。

フリープランに関しては10月からスタートする予定である。

自主事業については、ようやくスタートした。ただし、9月では周知が

足りなかったので申込者がいなかった。しかし、10月の講座には問合せ等がきているので、スタートできるのではないかと思う。特に Jimdo によってホームページの作成支援に力をいれていきたい。

(市民生活課)

無線 LAN 環境について説明してほしい。

(指定管理者)

LAN 環境を2つ作る予定であるが、現在はまだ1つしか準備できていない。1つはフリースポットで、駅などの公共施設でよく使われている Wi-Fi のひとつであるが、これはすでに使用できるようになっている。セキュリティに関しては、メールアドレスを登録するとそのアドレスにパスワードが送信されるので、そのパスワードをフリースポットに入力して使用する。受付で毎日パスワードを変更して利用者に配布するという案もあったが、不正アクセスなどの犯罪へのセキュリティに関しては弱いので、前者を使用する。

もう1つは、ウェブキャストというシステムを使い、多目的ルームの中だけでネットワークを作ろうと考えている。しかし、現在はまだうまく機能していないので、当座は同一環境の中でやろうと思う。ただ、現在進行中の計画なので、変更することもありうる。

4 審議事項

(1) 市民公益活動団体について

指定管理者から前回の運営委員会以降の新規登録団体の説明があり、新規 16 団体中 16 団体を公益団体とすることが承認された。

5 その他

(1) 市民活動サポートセンター指定管理者の選考の状況について

事務局から現在の状況を報告した。

(市民生活課)

4年に1回、指定管理者の更新を行う。今回は3回目の更新で、25年度～28年度の4年間を管理する指定管理者を選考しているところである。選考委員は7名で、学識経験者や税理士、NPO関係者、市職員などがメンバーになっている。6月1日から公募の周知を行い、7月23日から8月3日まで募集をしたところ、応募件数は1団体であった。9月17日10:30～11:30 総合福祉会館視聴覚研修室にて公開プレゼンテーションを行う。同日の

13:00～14:10 までは公開選考会を行い、その結果により 10 月～11 月には指定管理者を決定する。

指定管理者制度は議会で議決事項になっているので、12 月の議会で議決されると指定されることになる。

1 月～3 月に協定を締結し、引き継ぎ等を行い、4 月から新しい指定管理者に更新となる。

ちなみに、指定管理者の応募条件には、市内に事務所のある非営利活動団体としているので、企業は応募の対象外になっている。

(2) ハッピーバースデーについて

指定管理者から「ハッピーバースデー」の資料に沿って、報告した。

(指定管理者)

11 月 10 日に向けて、準備が進んできているところである。チケットは、色々な団体に預かっていただいているが、戻ってきているものもある。

ロビーで展示を行う予定であるが、人権関係の団体に行っていたかどうかを考えている。サポートセンターとしてもポスターを展示する。

(3) 意見交換会について

(市民生活課)

次回の運営委員会まで間があるので、10 月 12 日（金）18:30 から意見交換会を開催する。

6 閉会

以上